

永年勤続者表彰 (15年勤続11人) (25年勤続2人)



平成19年1月4日の新年互礼会にて永年勤続者の表彰が行なわれ、平松恵一会長より賞状と記念品が授与されました。

勤続25年代表 熊川 良則(検査二科科長補佐)

私が今日ここまで勤続できたのも、ひとえに理事の先生方をはじめ、周囲のたくさんの方からご支援やご指導をいただいたおかげであると思っています。心から感謝いたします。

私は長年尿一般検査に携わっておりますが、この部門は、細胞診・細菌・生化学検査など多くの分野と強いかかわりを持っていて、尿検査や便検査などには多くの情報が含まれていることを実感しています。

一方、私は医師会事業である「学校検尿」に関わらせていただいています。「学校検尿判定委員会」の先生方や「学校委員会」の先生方ともご縁ができ、嬉しく思っております。先生方の学童に対する“ドクターとしての姿勢”から学ぶことは多いです。

今後も、先生方や患者さんに満足していただけるように、自分自身の更なる資質向上に努めていきたいと思っております。



【勤続25年】
熊川良則(左)
山田明子(右)



【勤続15年】

(後列左から)前田亮臨床部長、中田勇、渡部和彦、吉本直樹、井出本宣明、中村賢作
(前列左から)久保田美穂、丸岡博美、藤井珠美、福原由美、矢口裕子

ドクターからのメッセージ

熊川さんは昭和56年に広島市医師会臨床検査センターに入所され、昭和58年から学童検尿担当になられたそうです。

私が初めて熊川さんに会ったのは、平成13年に広島市医師会の学校医委員会の学童検尿担当委員になったときです。その年の冬、検尿判定小委員会の開催前に、学童検尿結果の説明に来られました。市内の全ての小中学校で施行される膨大な量の検査結果を整然とまとめられておりました。医師会臨床検査センターで行っている学童検尿のシステムから沈渣の検鏡方法についても詳細に説明をしていただきました。

学童検尿は小児の腎疾患の早期発見、早期治療のため重要な検診です。広島市の学童検尿が円滑にかつ有効に運営できているのは熊川さんの努力によるところが大きいと感じています。平成15年には広島市優良技能勤労者表彰を受けられています。今後も検査の充実のために尽力を続けられることと思います。

もり小児科院長 森 美喜夫 先生